［展開例ⅣワークシートNo.1］キャップ回収、何個集まったかな

　１　年（　　）組（　　）号　氏名（　　　　　　　　　　）

課題１

生徒会でペットボトルキャップ回収活動を始めました。活動を始めてから２週間で集まったペットボトルキャップ全部の個数はわかりませんが、重さを量ったところおよそ8000ｇありました。現在、およそ何個のペットボトルキャップが集まったのでしょうか。

活動を続けていくとペットボトルキャップの数がさらに増え、生徒会ではペットボトルキャップを１個ずつ数える作業が大変になりそうです。今後、集まったペットボトルキャップのおよその個数を求めるにはどのようにすればよいでしょうか。

○現在集まったペットボトルキャップはおよそ何個になりますか。

　　およそ〔　　　　　〕個

めあて：集まったペットボトルキャップのおよその個数を求める方法を考えて説明してみよう。

１　伴って変わると考えられる二つの数量を、次の「　　」の中に書きましょう。

ペットボトルキャップの「　　　　　　　　」と「　　　　　　　　」

２　１で着目した二つの数量について、どのような関数関係があるとみなすことができますか。分かっていることを表、式、グラフに表して調べましょう。

［表］　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　［グラフ］

***x***



***y***

|  |  |
| --- | --- |
| ***x***（　　） |  |
| ***y***（　　） |  |

［式］

○表、式、グラフを基にすると、***x***と***y***の間には

どのような関数関係があるとみなすことができ

ますか。次の下線に当てはまる適切な語句を書きましょう。

「 ***y***（　　　　　　　　　　）は　***x*** （　　　　　　　　　　）に　　　　　　　　する」

関係があるとみなすことができる。

３　集まったペットボトルキャップのおよその個数は、２の表、式、グラフのいずれかを用いて求めることができます。次の下線には当てはまる適切な語句を、　　　　　　　には用いる表、式、グラフのいずれかを、　　　　　　　にはその用い方を書いて、求める方法を説明しましょう。

集まったペットボトルキャップのおよその個数を求めるためには、「 ***y***（　　　　　　　　　　）は　***x*** （　　　　　　　　　　）に　　　　　　　　する」関係を利用して、

［展開例ⅣワークシートNo.2］キャップ回収、何個集まったかな

　１　年（　　）組（　　）号　氏名（　　　　　　　　　　）

課題２

ワクチンには数種類あるそうですが、ポリオワクチンだと１人分が20円です。また、およそペットボトルキャップ400個で１kg 、10円のワクチン代の寄付となるそうです。

現在集まったペットボトルキャップで、子ども何人分のワクチンになりますか。また、集めるペットボトルキャップの重さで何人分のポリオワクチンになるかを求めるにはどのようにすればよいでしょうか。

２．このペースで、目標達成できるだろうか。

○現在集まったペットボトルキャップで、子ども何人分のワクチンになりますか。

　　〔　　　　　〕人分

４　１～３で考えた内容を参考にして、集めるペットボトルキャップの重さで何人分のポリオワクチンになるかを求める方法を説明しましょう。

○伴って変わると考えられる二つの数量に着目しましょう。

「　　　　　　　　　　　　」と「　　　　　　　　　　　　」

○表、式、グラフに表しましょう。

○どのような関数関係があるとみなすことができるでしょうか。

○集めるペットボトルキャップの重さで何人分のポリオワクチンになるかを求める方法を説明しましょう。

集めるペットボトルキャップの重さで何人分のポリオワクチンになるかを求めるためには、